

2. 減災対策協議会に関する取組

「荒川下流域水防災タイムライン(流域タイムライン)」の取組推進

～令和5年度タイムライン運用ふり返し～

令和6年3月7日

令和5年度タイムライン運用ふり返り

■ 運用実績

➤ 令和5年度に発生した大雨等による対応(R6.3.4時点)でのタイムライン運用は以下の通り。(タイムライン適用4回)

項	期間	災害名	気象概況等	適用有無	備考
1	6/1~6/2	台風第2号	・ 6/2~3に最大20~30mm/Hの雨 (6/1~3の累加は、東京260mm、熊谷102mm) ・ 東京、埼玉に洪水警報、大雨警報 〈床上浸水、床下浸水等多数発生〉	無	・ TLの適用なし、大雨への注意喚起のメール周知のみ
2	6/9~6/13	台風第3号等 (活発な梅雨前線含)	・ 6/9~10、6/12に最大5~6mm/Hの雨 (累加は、東京58mm、熊谷32mm) ・ 大雨・洪水注意報・警報なし	有	危機感共有WEB会議(2回)
3	8/4~8/10	台風第6号	・ 8/8~9に最大15mm/Hの雨 (累加は、東京15mm、熊谷38mm) ・ 埼玉に大雨注意報	有	危機感共有WEB会議(3回)
4	8/9~8/17	台風第7号	・ 8/13~1に最大25mmの雨 (累加は、東京100mm、熊谷102mm) ・ 東京、埼玉に大雨・洪水注意報	有	危機感共有WEB会議(3回)
5	9/5~9/9	台風第13号 (熱帯低気圧)	・ 9/8に最大10~20mm/H (累加は、東京109mm、熊谷61mm)の大雨 ・ 東京、埼玉に洪水警報、埼玉に大雨警報	有	危機感共有WEB会議(3回)

令和5年度タイムライン運用ふり返り

■適用理由

項	期間	災害名	適用有無	適用理由等
1	6/1~6/2	台風第2号	無	・適用基準(台風進路等や早期注意情報)を満たさないため
2	6/9~6/13	台風第3号等 (活発な梅雨前線含)	有	・関係機関や住民に早期の対応を促すため※
3	8/4~8/10	台風第6号	有	・関係機関や住民に早期の対応を促すため※
4	8/9~8/17	台風第7号	有	・関係機関や住民に早期の対応を促すため※
5	9/5~9/9	台風第13号 (熱帯低気圧)	有	・関係機関や住民に早期の対応を促すため※

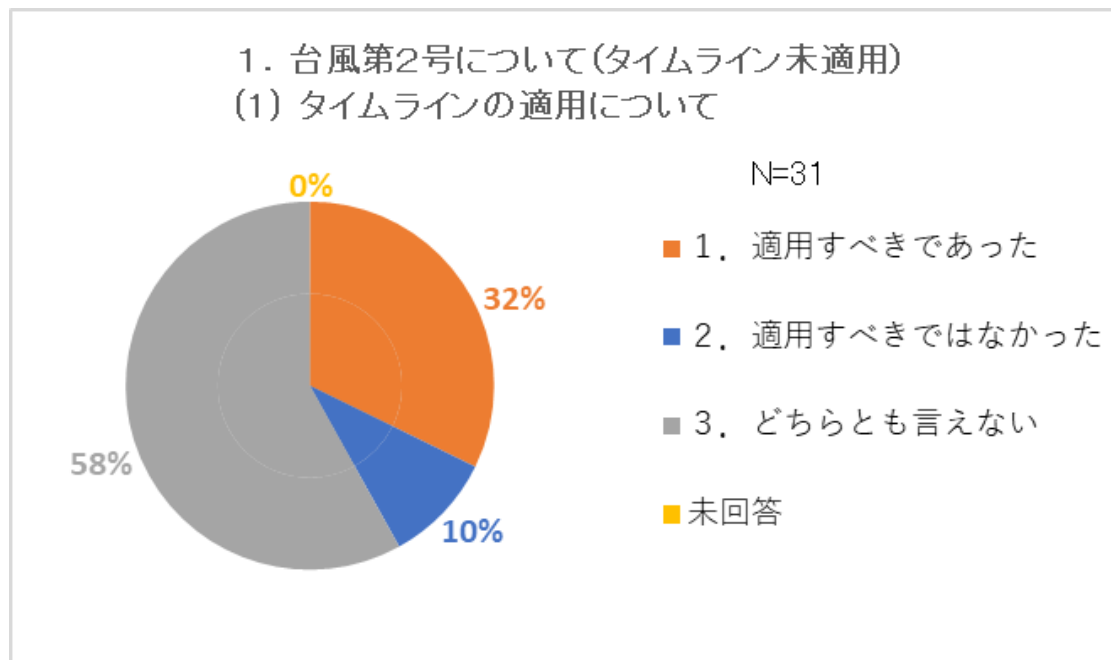
※の適用は、令和5年度から試行的に運用

⇒大雨に対する早期の備えを促すとともに「タイムライン適用なし=安全」という誤った認識を防ぐために導入

令和5年度タイムライン運用ふり返り

■ タイムライン適用に関するアンケート結果(台風第2号)

●【台風第2号】タイムラインの適用について



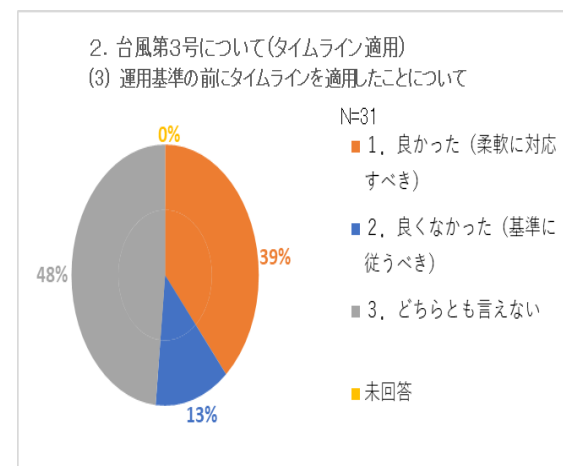
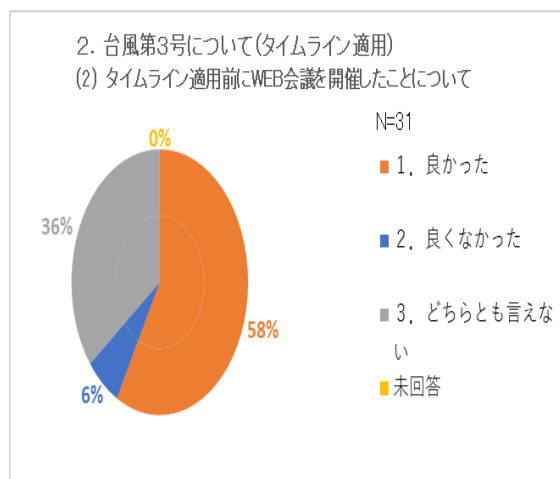
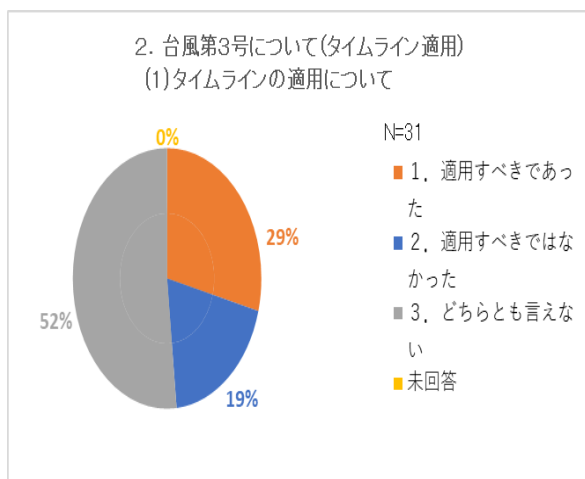
●「タイムライン適用すべき」との意見が、「適用すべきでない」を上回った

⇒流域で大雨の影響が予想される場合は、早期のタイムライン適用が求められている

令和5年度タイムライン運用ふり返り

■ タイムライン適用に関するアンケート結果(台風第3号)

②【台風第3号】タイムラインの適用、運用基準前の危機感共有WEB会議、運用基準前のタイムライン適用について

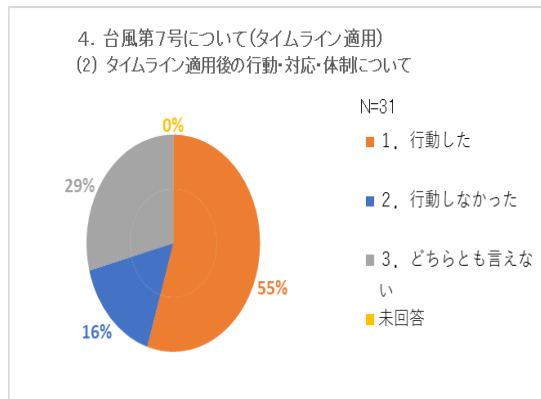
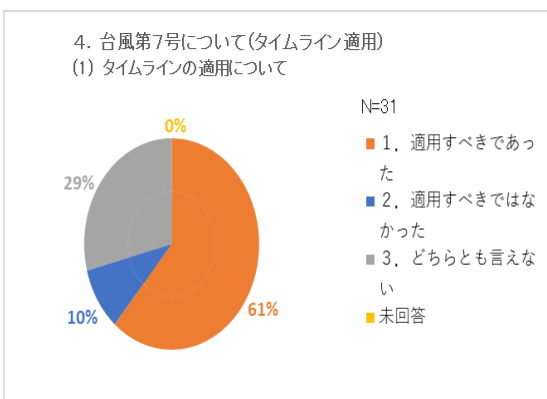
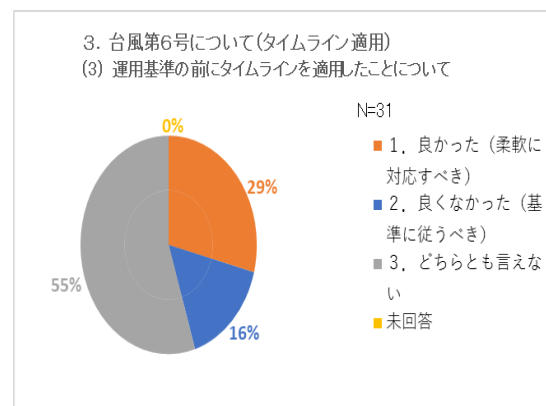
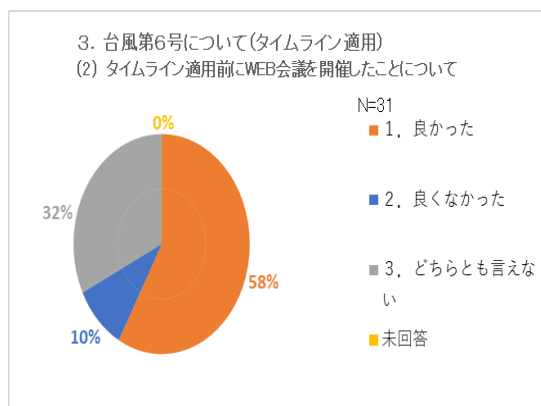
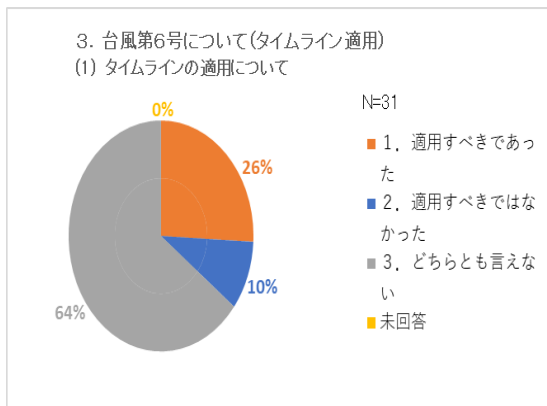


- 「タイムライン適用すべき」「運用基準前でのタイムライン適用、危機感共有WEB会議の開催は良かった」との意見が多かった

令和5年度タイムライン運用ふり返り

■タイムライン適用に関するアンケート結果(台風第6、7号)

③(参考)【台風第6、7号】タイムラインの適用、運用基準前の危機感共有WEB会議、運用基準前のタイムライン適用について



●台風第3号と回答傾向は変わらない
⇒早期のタイムライン適用や危機感共有WEB会議が求められる

ふり返りを踏まえた令和6年度の対応について

■令和6年度に向けて

荒川下流域でのタイムライン運用にあたっては、令和5年度に引き続き、先を見越した早め早めの防災行動を促すため、積極的なタイムラインの運用を図る。



「流域に大雨の影響の可能性が少しでもある場合」には、柔軟かつ積極的なタイムラインの適用

※台風から遠く離れた場所でも、台風に向かって南から湿った空気が流入すると広範囲で大雨が降ることがある。（平成27年 台風18号(鬼怒川決壊)）

危機感共有WEB会議(常時接続)の取り組み

- ・ 台風や線状降水帯等の大雨が予測される際、関係機関で危機感を共有し、危機に備えることを目的として開催。
- ・ 最新の気象や水位の見通し等をWEB会議上で共有し、専門家による解説や周辺自治体の対応状況等の情報を双方向でやりとり。
- ・ 関係機関同士が顔の見える関係を構築し、共通の認識を持って災害対策を行うことが可能。

<実施例:R5綾瀬排水機場危機管理対応>

- ・ 期 間 : 6月21日~7月26日(24回WEB会議開催)
- ・ 方 法 : 毎日15時よりWEB会議、**会議時間以外もWEB会議は常時接続**し、いつでも問い合わせ可能。
- ・ 内 容 : 最新の気象状況(気象官又は気象予報アドバイザーによる気象解説)
綾瀬排水機場の対応状況
- ・ 参加機関: 足立区、葛飾区、江戸川区、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町、埼玉県、東京都、東京管区气象台、学識者、江戸川河川事務所、荒川下流河川事務所

危機感共有WEB会議の様子



常時接続時の共有画面

荒川下流危機感共有WEB会議(綾瀬排水機場) 国土交通省

<p>気象の見通し</p> <p>気象庁 https://www.jma.go.jp/bosai/forecast ・天気予報</p>	<p>水位の予測</p> <p>水害リスクライン https://rig.river.go.jp/ ・水位予測 ※谷吉宇は利根川水系です。 ※閲覧にはID・PWが必要です。</p>	<p>水位の実況</p> <p>川の防災情報 http://www.river.go.jp/ ・全国の河川の水位 ・雨量 ・XRAIN ・洪水予報 ・水防警報、等</p>
--	---	---

7月6日15:00現在 (7月4日のWEB会議から変化なし)

綾瀬排水機場の状況
・1号ポンプは試運転の結果、既定の排水量(50m³/s)達したことを確認(6月21日)
・綾瀬排水機場に排水ポンプ車3台(3m³/s)、排水ポンプ車4台(2m³/s)待機中(6月30日)

常時接続中。いつでも呼び掛けください。
 応答がない場合は、
 ①××××××××××××××××××××
 ②××××××××××××××××××××
 ③××××××××××××××××××××
 ④××××××××××××××××××××
 までご連絡いたします。
 毎日AM10時頃に会議を開催し直しますので、適宜再接続をお願いいたします。(会議URLに変更はありません。)

「第〇回危機感共有WEB会議は、7月〇日(〇)15:00より開催予定です。」